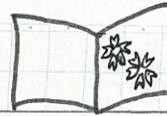


# HONTAN

図書館ボランティア「本探」が 第27号  
 旬の図書館情報をお知らせします 2012年  
 4月18日号



フムフムな  
 情報がいっぱい!

## HONTAN PIECES

沢山の本があるということは沢山の物語があり、  
 沢山の登場人物が居ます。今回の11pieceのテーマは  
 「憧れの登場人物が出てくる本」  
 です。小説の中に思わず素敵だな、と思っ  
 ちゃうって居ますよね。

**珠の憧れ** \* 「燃えよ剣」  
 司馬遼太郎 918.08/S-6

『土方歳三』  
 歴史ファンタジーと言われればそれまでだけれど、  
 この作品以上に格好良い史実の人は居ないと思う。

**のびの憧れ** \* 「ビブリア古書堂の事件手帳  
 ~葉子さんと奇妙な客人たち~」  
 三上延 913.6/M-1

『坂口夫妻』  
 夫の口説き文句とある事実を告白した夫の妻の  
 フォローが素晴らしい。こんな夫婦に憧れる。

**あまの憧れ** \* 「さよならトビュシー」  
 中山七里 913.6/M

『岬洋介』  
 才能があるだけでなく、そのうえ努力がで  
 きる人。小さいころから探偵に憧れます。

**ミウの憧れ** \* 「長い廊下がある家」  
 有栖川有栖 913.6/A

『火村英生』  
 こんなカッコいい先生のゼミに入れたら勉強も苦  
 しくない。カッコよすぎる、来北星!

**カンの憧れ** \* 「青い鳥」  
 重松清 913.6/S

『村松先生』  
 こんな先生現実にいるわけないけれど、  
 こんな先生がいたら素敵だと思う。

**銚子の憧れ** \* 「魔王」  
 伊坂幸太郎 913.6/I

『安藤』  
 命をかけて巨大な敵に挑む姿は、  
 無様だけれどカッコいい。

**空の憧れ** \* 「東京バンドワゴン」  
 小路幸也 913.6/S

『堀田我南人』  
 金髪で熱いロック魂をもつ伝説のロッカー。  
 たけど家族を大切にできる60代のおじいちゃん。

**とみかの憧れ** \* 「舟を編む」  
 三浦しをん 913.6/M

『松本先生』  
 歳をとってからでも何がほろろくて  
 いられる人ってカッコいいです。

**アミの憧れ** \* 「キケン」  
 有川浩 913.6/A

『上野直也』  
 こここまでカッコとんでると呆れながら  
 も憧れてしまう。

**アナムの憧れ** \* 「TUGUMI」  
 吉本ばなな 913.6/Y

『つぐみ』  
 感情表現は豊かなのに本音を隠してせない  
 寡黙な部分に惹かれる。

**田の憧れ** \* 「僕、長い昼と長い夜を過ごす」  
 小路幸也 913.6/S

『ナタネさん』  
 明を守るために全力を尽くす姿。  
 正体が知れたあとさらに好きになります。

**HONTAN 新メンバー募集!**  
 北星学園大学図書館ボランティア  
 HONTANでは、一緒に活動してくれる人を  
 募集しています。学科・学年問いません。  
 詳しくは図書館内のポスターとCheck!

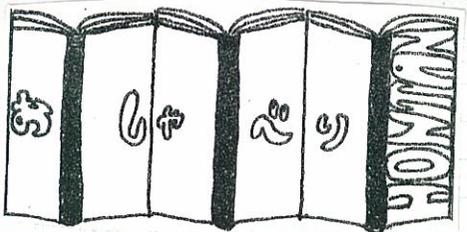
**今月の1冊**

東野圭吾著  
 「ガリレオ  
 の苦悩」  
 913.6/H

4月のDVD:  
 舞台は近  
 未来の日本。  
 「円都(イェン  
 タウン)」と  
 呼ばれる無国  
 籍地帯で、ワリコは母を亡くした少女アケル  
 と暮らしていた。ある時二人は、ひょんな  
 ことから為札造りのデータを手にする。  
 それから二人の人生は転落し始めて……。  
 青春映画に飽きてしまっ、危険な香りを  
 楽しみたくなったあなたにみずすめの作品  
 です。アンダーグラウンドな雰囲気も堪能し  
 てください。

作となっている作品です。「探偵ガリレオ」や「予知夢」のように短編で編成されて  
 いて、非常に読みやすいです。  
 長編では脇役になりつつある湯川がどういう心情で事件に関わっているのか理解で  
 きる一冊になっています。登場人物の湯川学は物理学者で、そのため科学的な解説が  
 難しいのかと思われてしまうかもしれませんが、そんなことはありません。自分達でもす  
 ぐに使える知識であったり、昔学校で習ったなと思うようなことが出てきます。  
 作中の台詞で、「神秘的なものを否定するのが科学的目的じゃない」と出てくるの  
 ですが、なぜそういう言葉が発したのか、その経緯が気になりますか? <カノン>

⇒「スワロウテイル」(918.72/S) <とみか>



揭示物の作成など。あとは毎月日に本探検誌「HONTAN」を発行していきます。

さてでは実際HONTANに入学して活動してみてもどう感じていますか？

私は、展示物を作るのが楽しくなってきて、ということを感じています。どうすればより多くの人の目に触れられるか、興味を持ってもらえるか考えるのが楽しくあります。

紹介するの、図書館でDVDを鑑賞する方が多くなりました。

あと、HONTANは大学内で数少ない、大学の職員さんとの交流ができるボランティアである。大学内で学生と教員以外の人と交流が持てるのは良いと思っております。

HONTANは図書館の魅力再発見できた場下と思っています。

今回のテーマは「HONTANってどんな団体？」

新メンバー募集中のHONTAN。図書館ボランティアなんて聞き慣れない名前だけど実は……？

知られざるその魅力を、珠(3年目)、とみか(4年目)、きょう(4年目)、傘(2年目)、きょう(2年目)がそれぞれ紹介しよう！

きょう: HONTANに入るとやはり本の幅が広がりますね。今まであまり読んでなかったジャンルに手を出したりしました。

とみか: と、自分がおススメする本をどうアピールするか、本屋さんのPOPとかを参考にしたり、どうすればこの本やDVDが手にとってもらえるか？など考えるようになりました。

と: HONTANは好き好きの集まりだけど、みんなちょっとずつ興味のある方向が違いますが、好きな作家が違ったり、同じ本読んでても解釈が違ったり、違うジャンルに良いところを知ったり、世界が広がります。

傘: HONTANでは書籍以外にもDVDの紹介

きょう: HONTANは少教精鋭で、みんなが仲良しな団体ですよ。

展示は定期的に変わるので、本が好きで宣伝とかPOPを作る好き！という人もおられます。

自分が推した本が貸し出されたときの達成感、素晴らしいですよ。

あとは、職員さんとの垣の端と垣見ることによって自分の将来のビジョンを考えることができます。

HONTANには図書館の「大母さん」が、ぜひとも興味を持って下さる方が、是非図書館へ来て見て欲しいですね。

珠: まず最初にHONTANの概要を。

HONTAN(ホンタン)は、北星学園大学図書館で活動する学生ボランティアの名称です。

図書館と学生の視点から盛り上げ、学生の本の紹介とより多くの利用の促進を目標とし、2009年の結成以来、様々な活動を通して学生と本と結ぶ役割を担ってきました。

主な活動は、図書館内の企画展示、DVDや

HONTAN 雑誌の書評を紹介

Pick up MAGAZINES

ダ・ヴィンチ 4月号 P11~P16

『完全保存版 絶対おもしろい本! ミステリー入門ガイド』270頁と題し、ミステリー初心者から

コラム あきの「本探力」

「はじめての文学」

玄人まで楽しめる特集となっています。

まずは東野圭吾さん、伊坂幸太郎さん、海堂尊さん、綾辻行人さんによる話題の映像化作品から魅力を紹介。各作家さんへのインタビューでは、創作の秘密や、おススメのミステリー作品などを聞いています。

読者が求めるタイプ別・シチュエーション別の作品分類し、あなたが次に読むべき一冊も紹介。

ミステリーってちょっと難しそうで苦手……と思っている方にこそ読んでもらいたい特集になっています。

⇒ 謎多き名作ミステリー講座」信多山大地 9023/16

宮部みゆき、浅田次郎など名前を知っていても読んだことがない人も多いはず。また「どれから読んだらいいのかあからない」や「難しそう」など有名すぎて敬遠してしまう人もいるのでは。かくいうわたしもその一人で、読んだことがない小説家さんがたくさんでした。

そんな人に読んでほしいのが「はじめての文学」シリーズ。12人の小説家が読みやすい短編を紹介しています。このシリーズを読んでお気に入りの小説家を探してみてもいいかがですか？

⇒ 「はじめての文学」(913.6/1(各作家頭文字))

まずは新入生のみなさん、入学おめでとうございませう！

4月は出会いの季節。今回のPieceのテーマは「憧れる人物」でしたが、先生が多いのが意外でした。やはり学生目線だとそうなるのでしょうか？

今年度も沢山素敵な本を紹介していきますので、よろしくお願ひ下さい！(珠)

学生展示紹介

編後記

まずは新入生のみなさん、入学おめでとうございませう！

4月は出会いの季節。今回のPieceのテーマは「憧れる人物」でしたが、先生が多いのが意外でした。やはり学生目線だとそうなるのでしょうか？

今年度も沢山素敵な本を紹介していきますので、よろしくお願ひ下さい！(珠)

新入生のみなさん、北星学園大学図書館へようこそ！今回の学生展示は、図書館のことがもっとわかっちゃう、「この本はどこ？こんな本あったんだ!?」北星学園図書館マップ。

さあ、展示をきっかけに本を探しに行きませんか？(とみか)

DVD展示紹介

まだまだ寒いですが、暦では春を迎えました。ちょうど卒業と入学という相反するイベントがある時期です。というわけで、今回のテーマは「出会いと別れ」です。人の関わりから生まれるドラマを再発見してみたい。

＜のぞみ＞